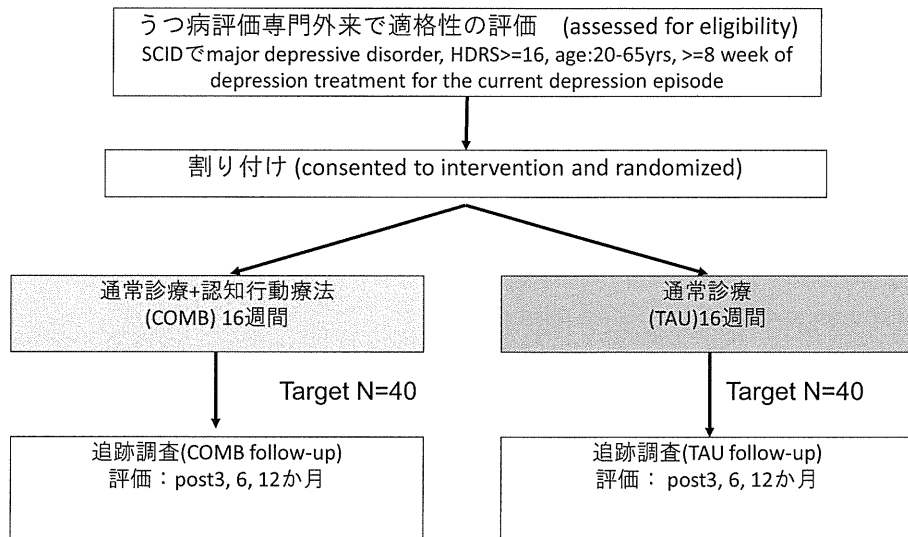


図1: 研究の概念図

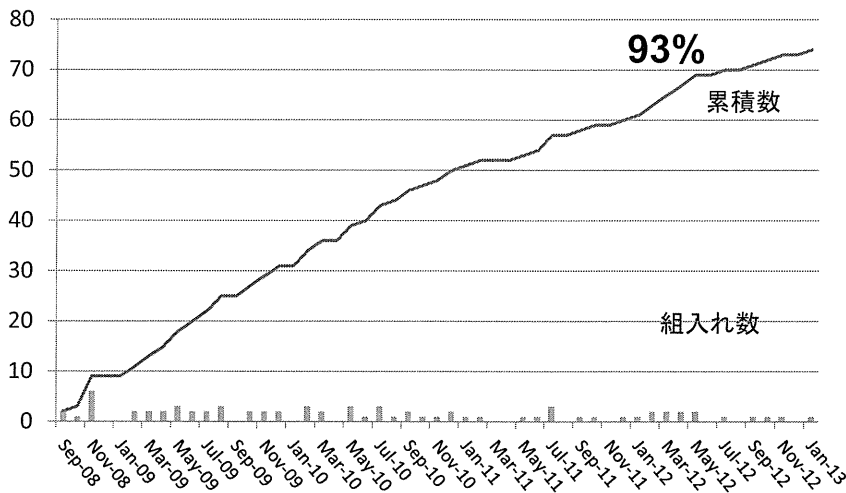


研究期間:  
介入期間=16週間、介入後naturalisticフォローアップ期間=12か月間



図2: ECAM研究のリクルート状況

Total n=74 (2013/1/31) Target sample=80

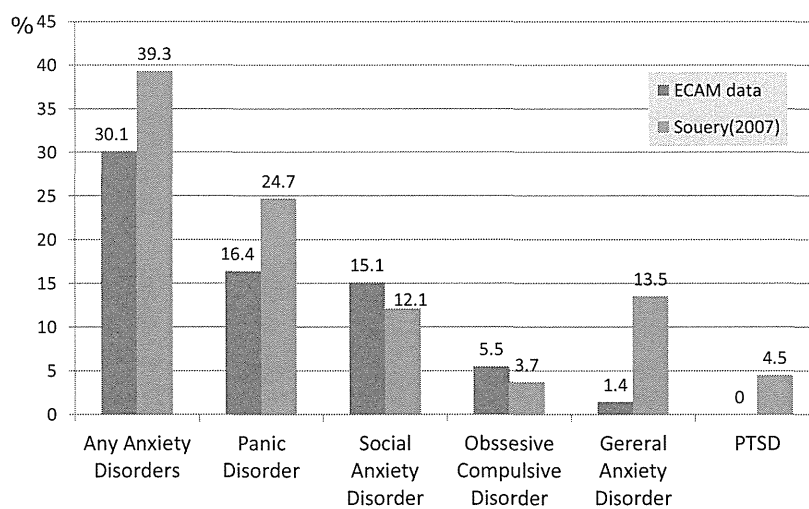


☒3: Baseline data, n=74 (2013/1/31)

Variables	CBT+TAU n=37		TAU n=37		p
	n	%	n	%	
Male	24	64.5	23	62.2	1.00
	mean	SD	mean	SD	
Age	39.2	9.1	41.5	11.0	0.34
HAMD-17	20.9	3.5	20.8	3.5	0.90
BDI-II	27.2	10.6	25.6	9.6	0.49
QIDS	13.7	4.8	13.4	3.8	0.83



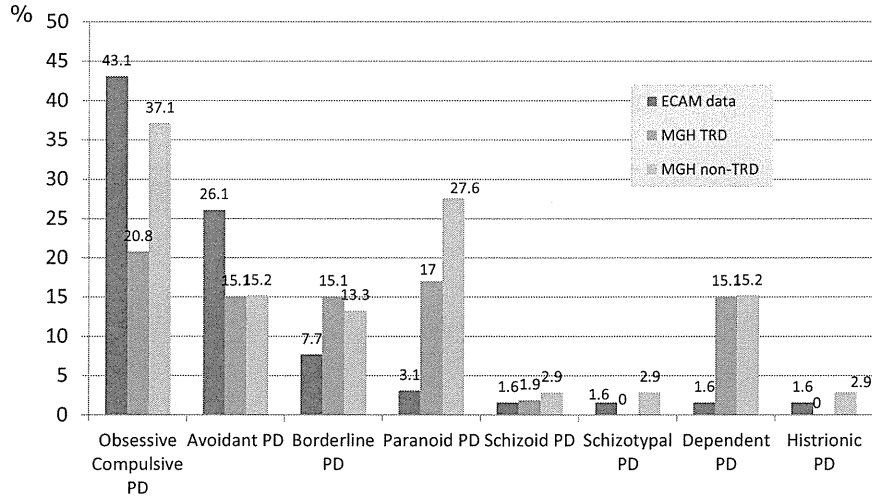
☒4: MDD and Anxiety disorder comorbidity



Group for Resistant Depression (GSRD) data : Souery et al. J Clin Psychiatry 2007;68:1062-107



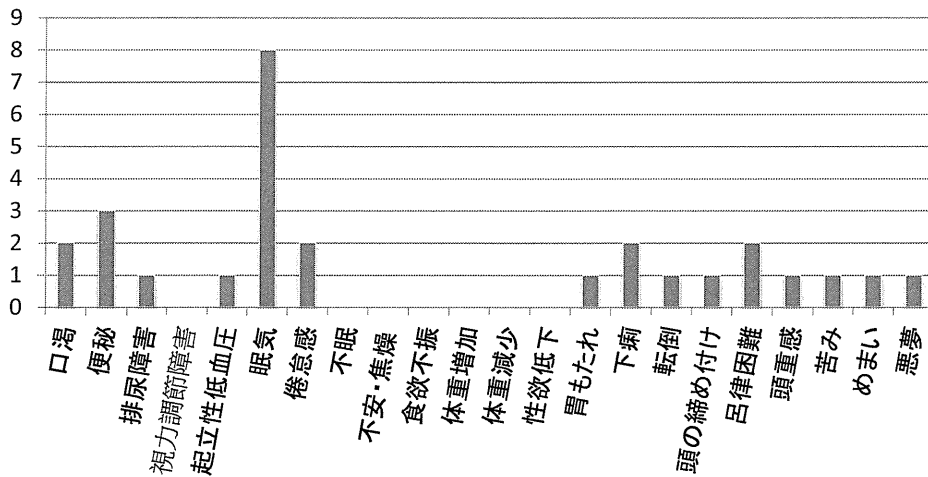
図5: MDD and Axis II comorbidity



MGH data source: Petersen et al., Psychotherapy and Psychosomatics 2002;71:269-274



図6: 中間解析結果 JCOG/JSCO版Grade 1 (症状があり, 処置を要さない) 有害事象の発生件数 (n=28件)

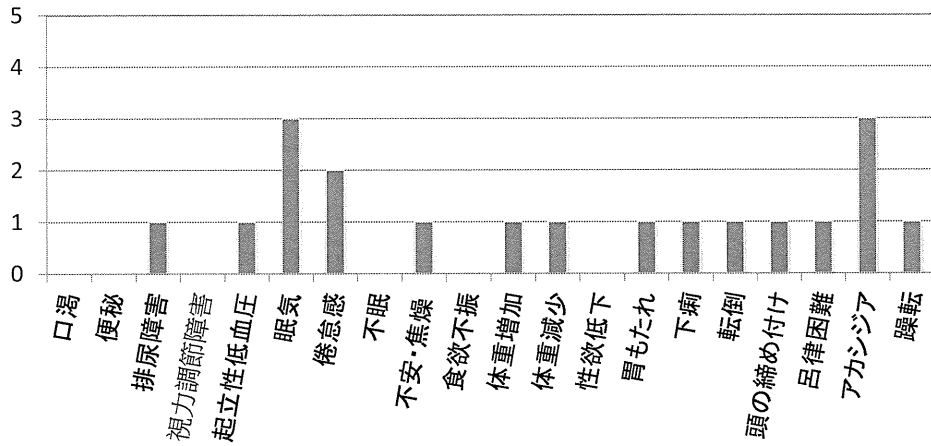


試験実施計画に基づき中間解析対象となる40症例目までの結果から2010年12月4日までに発生したAEを解析



## 図7: 中間解析結果 JCOG/JSCO版Grade 2

(症状があり, 処置を要するが日常生活に支障がない)有害事象の発生件数 (n=19)



試験実施計画に基づき中間解析対象となる40症例目までの結果から2010年12月4日までに発生したAEを解析



## 図8: QIDS score of total sample(n=70) at 16week assessment

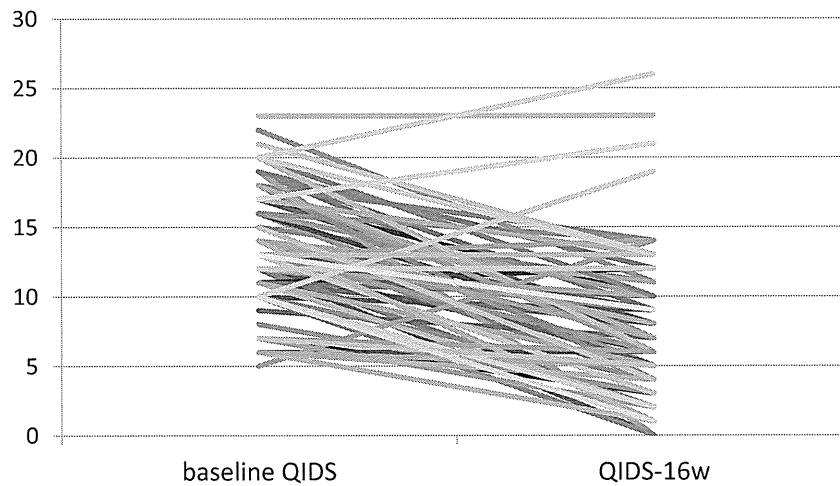
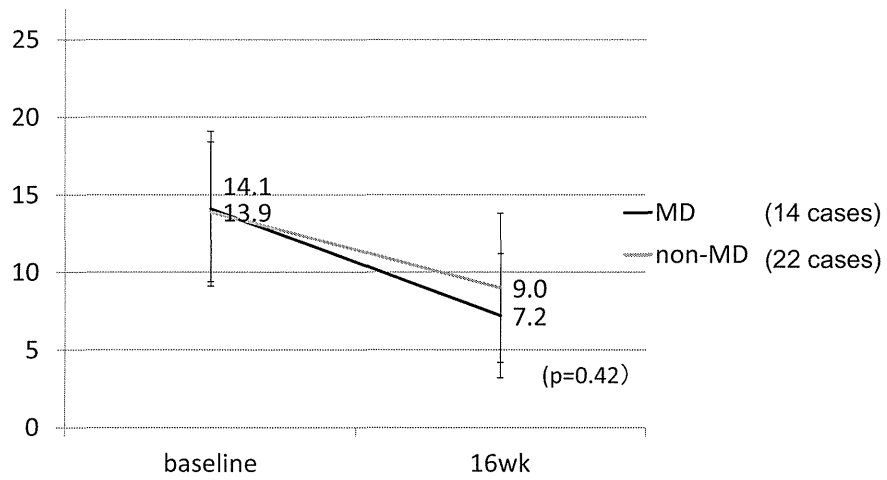


Figure 9: Comparison of mean QIDS score at 16-weeks between MD vs non-MD CBT therapist



厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）  
（総合）分担研究報告書

不安障害の認知行動療法の効果研究とうつ病の精神療法のメタアナリシス

研究分担者 古川壽亮 京都大学大学院医学研究科 教授

研究要旨 2010年度は、パニック障害、社会不安障害、強迫性障害の治療者育成について検討を行った。グループ CBT のコセラピストの経験を通じて継代的に治療者を育成続けることの重要性が浮き彫りになった。2011-12年度はうつ病に対する種々の精神療法（行動療法、認知行動療法、第3世代認知療法、さらに力動的な精神療法、ヒューマニスティック精神療法、統合的精神療法）について、お互いで比較した無作為割り付け比較試験とそれらと対照群とを比較した無作為割り付け比較試験すべてのネットワークメタアナリシスを行い、種々の治療の相対的な位置づけを試みた。

古川壽亮 1)、中野有美 2)、渡辺範雄 2)、船山正 2)、小川成 2)、木下善弘 2)、木下久慈 2)、仲秋秀太郎 2)、橋本伸彦 2)、村田佳江 2)、本屋敷美奈)、篠原清美 1)、陳霏瑤 1)、今井必生 3)、Rachel Churchill 4)、Vivien Hunot 4)、Debbi Caldwell 4)

- 1) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学分野
- 2) 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野
- 3) 京都大学大学院医学研究科医学専攻フィールド医学分野
- 4) University of Bristol, UK

## I. 認知行動療法の治療者育成について

### A. 研究背景と目的

名古屋市立大学で長年、パニック障害、社会不安障害に対してグループ認知行動療法が、強迫性障害に対して個人認知行動療法が行われてきたが、2010年以降構成メンバーの大きな変更があり、またうつ病の認知行動療法への関心が高まった。

### B. 方法

不安障害の認知行動療法家については、

- ① 主セラピストの治療をコセラピストとして見学して学び
  - ② エキスパートがコセラピストとしてスーパービジョンを行い、主セラピストとしてデビューするという教育スタイルを継続し、卒後3年目以降の医師を中心に訓練を行った。
- また、うつ病および適応障害に対して薬物療法と併用する個人認知行動療法として「モジュール CBT」を開発した。各モジュールは毎週1回30

分×4~5回であり、まずイントロダクションを行い、認知再構成、行動活性化、構造化問題解決技法、アサーション、睡眠行動療法から1~2つを選んで施行するものである。施行希望者には、2段階のワークショップ（初級+中級）を行った。

### C. 結果

不安障害のグループ認知行動療法を継続する若手医師も、モジュール CBT を施行する医師も育成が可能であった。

## II. 強迫性障害のメタ記憶への介入

### A. 研究背景と目的

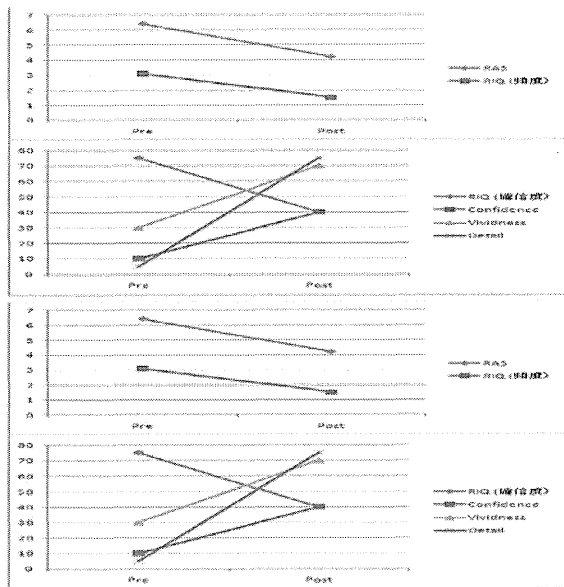
強迫性障害の確認行為には、記憶への不確実感が背後にある。このようなメタ記憶の歪みが確認行為を悪化させる。そこで、メタ記憶に関する介入を行い、その有効性を検討する。

### B. 方法

対象患者は、2010年4月から2011年3月までに外来で行動療法をうけた確認強迫が主体の2人の患者である。行動療法と併用して、メタ記憶への介入をおこなった。以下の評価尺度を、治療前、治療後に評価した。他者評価尺度としては、治療効果の評価には Yale-Brown Obsession-Compulsion Scale (Y-BOCS) 日本版を用いた。自記式調査票としては、日本版 Responsibility Attitude Scale (RAS) および Responsibility Interpretation Questionnaire (RIQ) を施行した。自己の記憶に関する確信度、記憶の鮮明さ、細部の想起を 0-100 の数字で評価させ、セルフモニタリングをおこなった。

### C. 結果

37歳男性で確認強迫が主体の患者は、治療後にY-BOCSが36点から18点に減少し、RASおよびRIQの得点も改善した。記憶に関する確信度、記憶の鮮明さ、細部の想起なども改善した。しかし、38歳女性で確認強迫以外に複数のdimension（洗浄強迫や対称性へのこだわり）がある患者は、Y-BOCSが32点から28点と変化なく、RASおよびRIQの得点も改善しなかった。記憶に関する確信度、記憶の鮮明さ、細部の想起なども変化なかった。



#### D. 考察

メタ記憶への介入は、確認強迫が主体の患者の過剰な責任感やメタ記憶の歪みを改善が期待できる。しかし、確認強迫以外に複数のdimensionが併発し、不潔行為や対称性への確認行為がある患者では治療に反応しなかった。今後は症例数を増やして検討する予定である。

### III. うつ病の精神療法のネットワークメタアナリシス

#### B. 研究背景と目的

近年、うつ病に対する薬物療法のエビデンスに対して深刻な疑義が呈されるようになってきた[1-3]。そのため、大うつ病の治療方法として精神療法、とくに認知行動療法に力点を置くガイドラインも見られる[4]。ところが、皮肉なことに、精神療法についても、そのエビデンスが批判されるようになってきた[5-7]。また、種々の精神療法のあいだに有効性の差が見いだせないという議論も昔からある[8]

#### B. 方法

対象となる研究の種類：RCT、cross-over trial の場合はその前半のみ、cluster RCT を対象とする。

対象となる参加者：18歳以上75歳未満。

対象となる診断：操作的診断(DSM-IV, DSM-III-R, DSM-III, ICD-10, RDC, Feighner)による大うつ病急性期。確立された評価尺度の閾値によってエントリーされた場合も包含する。一方、治療抵抗性の大うつ病や、大うつ病の再発の予防を目的とした試験は除外する。

実験群介入：行動療法、認知行動療法、第3世代認知療法、力動的療法、ヒューマニスティック療法、対人関係療法その他の統合的精神療法

対照群介入：通常治療、待機群、無治療群、注意プラセボ、心理プラセボ

除外される介入として、再発予防のための介入、治療者付きのセルフヘルプ、薬物との併用療法、夫婦療法、家族療法。

アウトカム尺度：主要アウトカムは、抑うつを測定する連続尺度に基づき判定された回復/改善と、治療受容率。副次アウトカムは、抑うつを測定する連続尺度、全体評価、不安を測定する連続尺度、副作用、社会適応、QOL、経済的アウトカム。

研究の検索：CCDANCTR、引用文献リスト、個人的連絡を用いる

二人の独立した評価者が各研究が選択基準を満たしているかを検討し、二人の意見が不一致の場合は第三の著者と検討する。

データ抽出：二人の独立した評価者によってあらかじめ定められたデータを抽出する。二人の意見が不一致の場合は第三の著者と検討する。

バイアスの危険の評価：コクラン共同計画の risk of bias tool(ROB)に従って評価する。それには以下の6項目が含まれる

- 1) 割り付けの順番の決定
- 2) 割り付けの隠蔽化
- 3) 主要アウトカムについて参加者、治療者および評価者をブラインド化
- 4) アウトカムデータの欠損
- 5) 選択的アウトカム報告
- 6) その他

二人の独立した評価者が ROB を評価する

治療効果の表現：異なる連続尺度が用いられている場合 SMD を用いる。二値尺度については OR を用いる

欠損値の扱い：二値尺度については、脱落した者は不良なアウトカムであったと想定して ITT を行う。連続尺度については、LOCF を用いる。SD が報告されていない研究が一部に見られるときは、Furukawa et al の補完方法[9, 10]を用いる。

異質性の評価：カイ 2 乗検定、 $I^2$ ,  $\tau^2$  を用いる

報告バイアスの評価: 出来る限りもれなく研究を同定すること、各研究において重要なアウトカムが欠落していないかを検討し場合によっては原著者に問い合わせる。十分な数の研究があれば漏斗図分析を行う。

データの統合: ランダム効果モデルを使う  
 サブグループ分析: 異質性を検討するため以下のサブグループ分析をアプライオリに計画している

- 1) ベースラインの抑うつ重症度
- 2) セッション回数
- 3) 対照群介入の種類
- 4) 治療同盟

感度分析: 得られた結果の頑健さを検討するため以下の感度分析を行う

- 1) 治療の忠実性
  - 2) 研究の質
  - 3) 欠損値の補完
  - 4) 抗うつ剤の使用
- 「その他」の認知行動療法とされた研究

(倫理面への配慮)

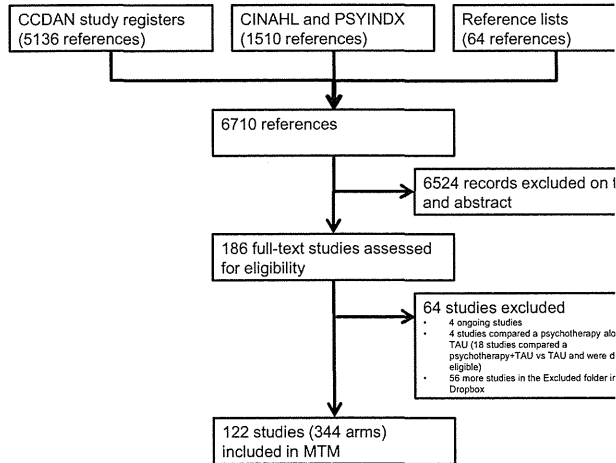
出版されたデータの二次利用であるので、倫理委員会の承認は要さない。

C. 結果

同定された研究

われわれはこのプロトコルに則り、Cochrane Collaboration Depression, Anxiety and Neurosis Group の RCT レジストリーなどから 2011 年 6 月までの検索により該当 RCT の同定およびそれからのデータ抽出を進めた。

その結果、122 研究 (344 アーム) を同定した。

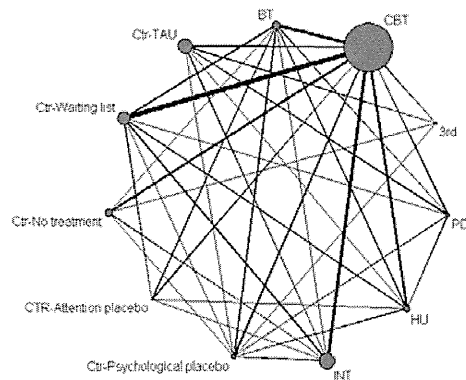


344 アームの内訳は、

No of arms	No of subjects per arm	Baseline depression severity: BDI mean (range)	First year	Last year

	(range)			
BT	39	10 (6-56)	25 (18-31)	1975 2002
CBT	131	16 (3-167)	25 (15-35)	1974 2011
3rd wave	9	20 (3-53)	27 (14-35)	1984 2011
Psycho-dynamic	14	26 (7-44)	25 (19-30)	1969 2009
Humanistic	23	14 (6-50)	25 (17-40)	1974 2009
Integrative	30	30 (6-139)	25 (18-30)	1977 2011
Control	98	20 (6-170)	24 (14-40)	1969 2011

で、エビデンスネットワークは



の通りであった。

ネットワークメタアナリシス

エビデンスネットワークの consistency の検討のため、モデルのフィットを検討した。

Model	Class level model description	Data points	Residual deviance	pD	DIC	Median between trial SD (CrI)
1a	Response. Consistency. Zero baselines removed	208	207.2	125.9	333.1	0.37 (0.16, 0.56)
1b	Response. Inconsistency. Zero baselines removed	208	212.5	137.6	350.1	0.32 (0.04, 0.54)
1c	Response. Consistency. Zero baselines included	243	259.4	180.2	439.6	0.81 (0.62, 1.03)
1d	Response. Inconsistency. Zero baselines included	243	259.9	192.0	451.9	0.82 (0.62, 1.07)
2a	Drop outs. Consistency. Zero baselines removed	132	137.6	84.9	222.5	0.45 (0.09, 0.77)
2b	Drop outs. Inconsistency. Zero baselines removed	132	140.1	93.5	233.6	0.46 (0.06, 0.84)
2c	Drop outs. Consistency. Zero baselines included	154	167.7	103.9	271.6	0.66 (0.37, 1.00)
2d	Drop outs. Inconsistency. Zero baselines included	154	166.4	110.8	277.2	0.67 (0.33, 1.06)
3a	Continuous. Consistency	269	263.2	230.6	493.8	0.63 (0.55, 0.74)
3b	Continuous. Inconsistency	269	267.9	239.6	507.5	0.66 (0.57, 0.78)

ゼロセルを除外した場合に、consistent model で residual deviance が data points とほぼ等しいので、consistent model のフィットは十分にあると判断された。そこでベイズモデルによるネットワーク



メタアナリシスを行うと、本報告末の通りとなった。

#### D. 考察

ネットワークメタアナリシスの結果、反応に関してトップ3に入っている可能性は、第3世代認知療法が93%、認知行動療法が87%、対人関係療法が70%であった。治療の受容性に関してトップ3に入っている可能性は、第3世代77%、対人関係療法65%、通常治療49%であった（認知行動療法は19%に過ぎなかった）。

しかし、アクティブな治療の間では有意差は見られず、上記の推奨は暫定的なものである。

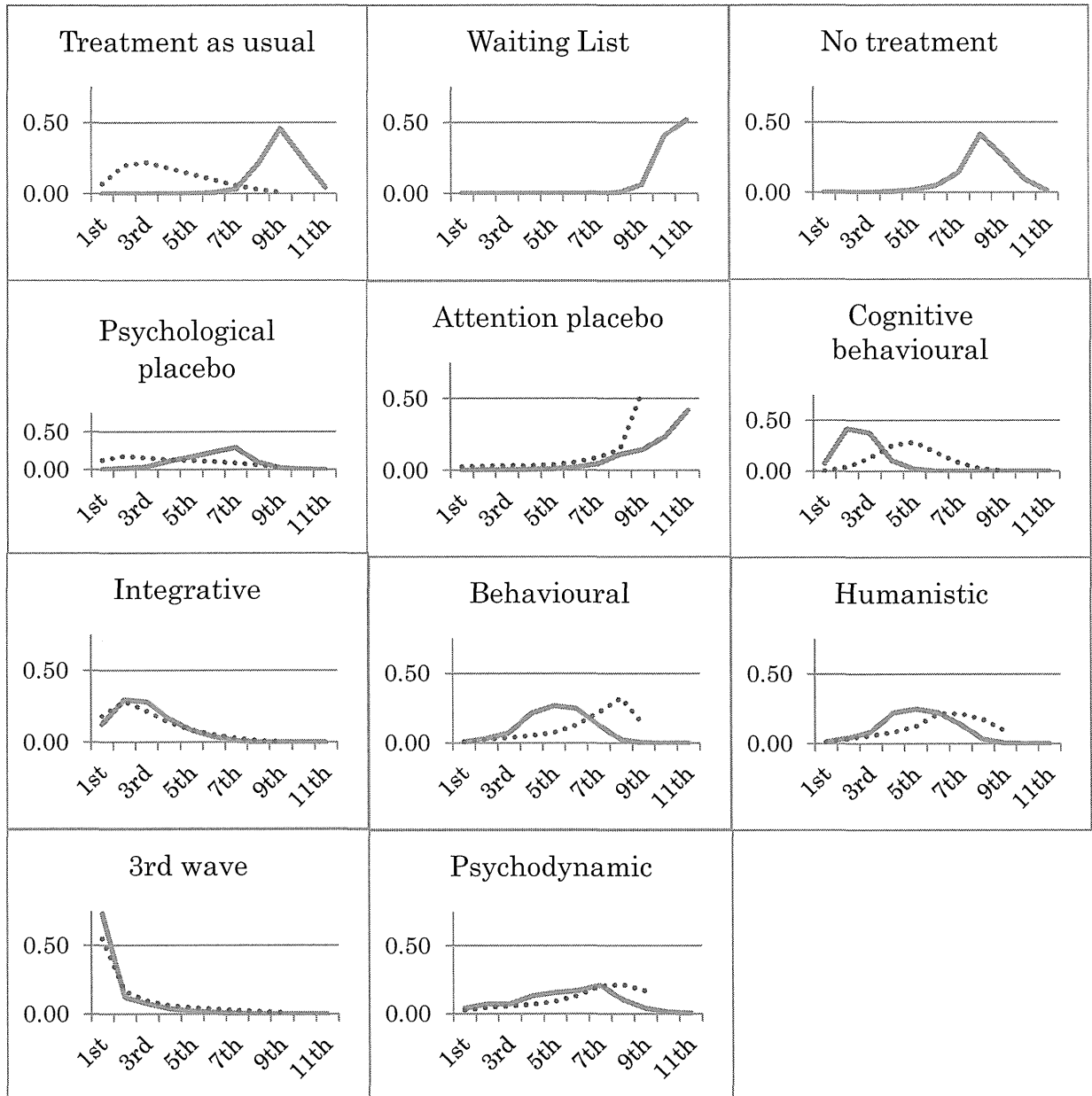
#### 文献

1. Turner EH, Matthews AM, Linardatos E, Tell RA, Rosenthal R: **Selective publication of antidepressant trials and its influence on apparent efficacy.** *N Engl J Med* 2008, **358**:252-260.
  2. Fournier JC, DeRubeis RJ, Hollon SD, Dimidjian S, Amsterdam JD, Shelton RC, Fawcett J: **Antidepressant drug effects and depression severity: a patient-level meta-analysis.** *JAMA* 2010, **303**(1):47-53.
  3. Kirsch I, Deacon BJ, Huedo-Medina TB, Scoboria A, Moore TJ, Johnson BT: **Initial severity and antidepressant benefits: a meta-analysis of data submitted to the Food and Drug Administration.** *PLoS Med* 2008, **5**(2):e45.
  4. NICE: *Depression: the treatment and management of depression in adults (partial update of NICE clinical guideline 23)*. London: National Institute for Clinical Excellence; 2009.
  5. Lynch D, Laws KR, McKenna PJ: **Cognitive behavioural therapy for major psychiatric disorder: does it really work? A meta-analytical review of well-controlled trials.** *Psychol Med* 2010, **40**(1):9-24.
  6. Cuijpers P, Smit F, Bohlmeijer E, Hollon SD, Andersson G: **Efficacy of cognitive-behavioural therapy and other psychological treatments for adult depression: meta-analytic study of publication bias.** *Br J Psychiatry* 2010, **196**:173-178.
  7. Cuijpers P, van Straten A, Bohlmeijer E, Hollon SD, Andersson G: **The effects of psychotherapy for adult depression are overestimated: a meta-analysis of study quality and effect size.** *Psychol Med* 2010, **40**(2):211-223.
  8. Cuijpers P, van Straten A, Andersson G, van Oppen P: **Psychotherapy for depression in adults: a meta-analysis of comparative outcome studies.** *J Consult Clin Psychol* 2008, **76**(6):909-922.
  9. Furukawa TA, Cipriani A, Barbui C, Brambilla P, Watanabe N: **Imputing response rates from means and standard deviations in meta-analyses.** *Int Clin Psychopharmacol* 2005, **20**(1):49-52.
  10. Furukawa TA, Barbui C, Cipriani A, Brambilla P, Watanabe N: **Imputing missing standard deviations in meta-analyses can provide accurate results.** *J Clin Epidemiol* 2006, **59**(1):7-10.
- #### E. 研究発表
- ##### E1. 論文発表
1. Akechi T, Okuyama T, Sagawa R, Uchida M, Nakaguchi T, Ito Y & Furukawa TA (2011) Social anxiety disorder as a hidden psychiatric comorbidity among cancer patients. *Palliative and Supportive Care*, 9, 103-105.
  2. Chen J, Furukawa TA, Nakano Y, Ietsugu T, Ogawa S, Funayama T, Watanabe N, Noda Y & Rapee RM (2010) Video feedback with peer ratings in naturalistic anxiety-provoking situations for social anxiety disorder: Preliminary report. *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry*, 41, 6-10.
  3. Furukawa TA, Watanabe N & Omori IM (2010) What (no) differences in response to three classes of psychotropics can teach us about distinctions between GAD and MDD. In *Diagnostic Issues in Depression and Generalized Anxiety Disorder: Refining the Research Agenda for DSM-V*. (eds Goldberg D, Kendler KS, Sirovatka P & Regier DA), pp. 71-104. Arlington, VA: American Psychiatric Association.
  4. Kinoshita Y, Kingdon D, Kinoshita K, Saka K, Arisue Y, Dayson D, Nakaaki S, Fukuda K, Yoshida K, Harris S & Furukawa TA (2010) Fear of negative evaluation is associated with delusional ideation in non-clinical population and patients with schizophrenia. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*.
  5. Ogawa S, Furukawa TA, Nakano Y, Funayama T, Watanabe N, Noguchi Y & Sasaki M (2010) Interoceptive hypersensitivity as prognostic factor among patients with panic disorder who have received cognitive behavioral therapy. *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry*, 41, 325-329.
  6. Watanabe N, Furukawa TA, Chen J, Kinoshita Y, Nakano Y, Ogawa S, Funayama T, Ietsugu T & Noda Y (2010) Change in quality of life and their predictors in the long-term follow-up after group cognitive behavioral therapy for social anxiety disorder: a prospective cohort study. *BMC Psychiatry*.
  7. Ono Y, Furukawa TA, Shimizu E, Okamoto Y,

- Nakagawa A, Fujisawa D, Ishii T & Nakajima S (2011) Current status of research on cognitive therapy/cognitive behavior therapy in Japan. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 65, 121-129.
8. Akechi T, Okuyama T, Sagawa R, Uchida M, Nakaguchi T, Ito Y & Furukawa TA (2011) Social anxiety disorder as a hidden psychiatric comorbidity among cancer patients. *Palliative and Supportive Care*, 9, 103-105.
  9. Furukawa TA, Akechi T, Wagenpfeil S & Leucht S (2011) Relative indices of treatment effect may be constant across different definitions of response in schizophrenia trials. *Schizophrenia Research*, 126, 212-219.
  10. Furukawa TA & Leucht S (2011) How to obtain NNT from Cohen's d: comparison of two methods. *PLoS ONE*, 6, e19070.
  11. Kinoshita Y, Shimodera S, Nishida A, Kinoshita K, Watanabe N, Oshima N, Akechi T, Sasaki T, Inoue S, Furukawa TA & Okazaki Y (2011) Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents. *Schizophrenia Research*, 126, 245-251.
  12. Shimazu K, Shimodera S, Mino Y, Nishida A, Kamimura N, Sawada K, Fujita H, Furukawa TA & Inoue S (2011) Family psychoeducation for major depression: randomised controlled trial. *British Journal of Psychiatry*, 198, 385-390.
  13. Watanabe N, Furukawa TA, Shimodera S, Morokuma I, Katsuki F, Fujita H, Sasaki M, Kawamura C & Perlis ML (2011) Brief behavioral therapy for refractory insomnia in residual depression: an assessor-blind, randomized controlled trial. *Journal of Clinical Psychiatry*, 72, 1651-1658.
  14. Katsuki F, Takeuchi H, Konishi M, Sasaki M, Murase Y, Naito A, Toyoda H, Suzuki M, Shiraishi N, Kubota Y, Yoshimatsu Y & Furukawa TA (2011) Pre-post changes in psychosocial functioning among relatives of patients with depressive disorders after Brief Multifamily Psychoeducation: A pilot study. *BMC Psychiatry*, 11, 56.
  15. Hashimoto N, Nakaaki S, Omori IM, Fujioi J, Noguchi Y, Murata Y, Sato J, Tatsumi H, Torii K, Mimura M & Furukawa TA (2011) Distinct neuropsychological profiles of three major symptom dimensions in obsessive-compulsive disorder *Psychiatry Research*, 187, 166-173.
  16. Watanabe N, Omori IM, Nakagawa A, Cipriani A, Barbui C, Churchill R & Furukawa TA (2011) Mirtazapine versus other antidepressive agents for depression. *Cochrane Database of Systematic Reviews*, 12, CD006528.
  17. Akechi T, Okuyama T, Endo C, Sagawa R, Uchida M, Nakaguchi T, Akazawa T, Yamashita H, Toyama T & Furukawa TA (2011) Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan. *Psycho-Oncology*, 20, 497-505.
  18. Okuyama T, Akechi T, Yamashita H, Toyama T, Nakaguchi T, Uchida M & Furukawa TA (2011) Oncologists' recognition of supportive care needs and symptoms of their patients in a breast cancer outpatient consultation. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 41, 1251-1258.
  19. Uchida M, Akechi T, Okuyama T, Sagawa R, Nakaguchi T, Endo C, Yamashita H, Toyama T & Furukawa TA (2011) Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 41, 530-536.
  20. Konishi M, Shishikura K, Nakaaki S, Komatsu S, Mimura M. (2011) Remembering and forgetting: directed forgetting effect in obsessive-compulsive disorder. *Neuropsychiatric Disease and Treatment*, 7, 365-372.
  21. Ando S, Yamasaki S, Shimodera S, Sasaki T, Oshima N, Furukawa TA, Asukai N, Kasai K, Mino Y, Inoue S, Okazaki Y & Nishida A (in press) A greater number of somatic pain sites is associated with poor mental health in adolescents: a cross-sectional study. *BMC Psychiatry*.
  22. Funayama T, Furukawa TA, Nakano Y, Noda Y, Ogawa S, Watanabe N, Chen J & Noguchi Y (in press) In-situation safety behaviors among patients with panic disorder: descriptive and correlational study. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*.
  23. Furukawa TA, Watanabe N, Kinoshita Y, Kinoshita K, Sasaki T, Nishida A, Okazaki Y & Shimodera S (in press) Public speaking fears and their correlates among 17,615 Japanese adolescents. *Asia-Pacific Psychiatry*.
  24. Furukawa TA, Nakano Y, Funayama T, Ogawa S, Ietsugu T, Noda Y, Chen J, Watanabe N & Akechi T (in press) CBT modifies the naturalistic course of social anxiety disorder: Findings from an ABA design study in the routine clinical practices. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*.
  25. Shiraishi N, Watanabe N, Kinoshita Y, Kaneko A, Yoshida S, Furukawa TA & Akechi T (in press) Brief Psychoeducation for Schizophrenia Primarily Intended to Change the Cognition of Auditory Hallucinations: An Exploratory Study. *Journal of Nervous and Mental Disease*.
  26. Furukawa TA & Leucht S (2013) Can we inflate effect size and thus increase chances of producing "positive" results if we raise the baseline threshold in schizophrenia trials? *Schizophrenia Research*, 144, 105-108.
  27. Kawaguchi A, Watanabe N, Nakano Y, Ogawa S, Suzuki M, Kondo M, Furukawa TA & Akechi T (2013) Group cognitive behavioral therapy for

- patients with generalized social anxiety disorder in Japan: outcomes at 1-year follow up and outcome predictors. *Neuropsychiatric Disease and Treatment*, 9, 1-9.
28. Furukawa TA, Horikoshi M, Kawakami N, Kadota M, Sasaki M, Sekiya Y, Hosogoshi H, Kashimura M, Asano K, Terashima H, Iwasa K, Nagasaku M & Grothaus LC (2012) Telephone cognitive-behavioral therapy for subthreshold depression and presenteeism in workplace: a randomized controlled trial. *PLoS ONE*, 7, e35330.
  29. Johnston BC, Thorlund K, da Costa BR, Furukawa TA & Guyatt GH (2012) New methods can extend the use of minimal important difference units in meta-analyses of continuous outcome measures. *Journal of Clinical Epidemiology*, 65, 817-826.
  30. Kinoshita K, Kinoshita Y, Shimodera S, Nishida A, Inoue K, Watanabe N, Oshima N, Akechi T, Sasaki T, Inoue S, Furukawa TA & Okazaki Y (2012) Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese adolescents. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 200, 305-309.
  31. Shimodera S, Furukawa TA, Mino Y, Shimazu K, Nishida A & Inoue S (2012) Cost-effectiveness of family psychoeducation to prevent relapse in major depression: Results from a randomized controlled trial. *BMC Psychiatry*, 12, 40.
  32. Shimodera S, Kawamura A & Furukawa TA (2012) Physical pain associated with depression: results of a survey in Japanese patients and physicians. *Comprehensive Psychiatry*, 53, 843-849.
  33. Watanabe N, Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA & Okazaki Y (2012) Deliberate self-harm in adolescents aged 12 to 18: A cross-sectional survey of 18104 students. *Suicide and Life-Threatening Behavior*, 42, 550-560.
  34. Watanabe N, Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA & Okazaki Y (2012) Help seeking behaviors among adolescents with self harm: Representative self-report survey of 18104 students. *Neuropsychiatric Disease and Treatment*, 8, 561-569.
- E2. 学会発表
1. Shimodera S, Kawamura A, Fujita H, Suga Y, Kamimura N, Inoue S, Furukawa TA (2012) Physical pain and depression: a survey in Japanese patients and physicians. 20th European Congress of Psychiatry, Prague, Czech 2012.3.3-6.
  2. Furukawa TA (2012) Keynote Speech: Research ethics poser: Where is the truth in the sea of information? 2nd Asia Pacific Research Ethics Conference, Singapore 2012.3.8.
  3. Thorlund K, Johnston BC, Furukawa TA, Walter SD, Guyatt GH (2012) Meta-analysis of health-related quality of life outcomes: Methods for enhancing interpretability of findings. IPSOR 17th Annual International Meeting, Washington DC, USA 2012.6.2-6.
  4. Thorlund K, Johnston BC, Furukawa TA, Walter SD, Guyatt GH (2012) Interpreting pooled estimates in systematic reviews involving pain. Canadian Anesthesiologists' Society Annual Meeting, Quebec City, Canada 2012.6.15-19.
  5. Onishi Y, Hinotsu S, Furukawa TA, Kawakami K (2012) Antidepressant prescription patterns among patients with major depression based on claims database in Japan. ISPOR 15th Annual European Congress, Berlin, Germany 2012.11.3-7.
  6. Ogawa S, Watanabe N, Kondo M, Kawaguchi A, Furukawa TA, Akechi T (2012) Quality of life and avoidance in patients with panic disorder with agoraphobia after cognitive behavioral therapy. Association of Behavioral and Cognitive Therapies, National Harbor, MD, US 2012.11.15-18.
  7. Kawaguchi A, Watanabe N, Nakano Y, Ogawa S, Suzuki M, Kondo M, Shiraishi N, Furukawa TA, Akechi T (2012) Group CBT for generalized anxiety disorder patients in Japan: The long term efficacy of treatments and predictors of outcomes. Association of Behavioral and Cognitive Therapies, National Harbor, MD, US 2012.11.15-18.

附表  
 青実線：反応  
 赤点線：脱落



書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Furukawa TA, Watanabe N, Omori IM	What (no) differences in response to three classes of psychotropics can teach us about distinctions between GAD and MDD	Goldberg D, Kendler KS, Sirovatka P, Regier DA	Diagnostic Issues in Depression and Generalized Anxiety Disorder: Refining the Research Agenda for DSM-V	American Psychiatric Association	Arlington, VA	2010	71-104

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akazawa T, Akechi T, Morita T, Miyashita M, Sato K, Tsuneto S, Shimada Y, Furukawa TA	Self-perceived burden in terminally ill cancer patients: a categorization of care strategies based on bereaved family members' perspectives.	J Pain Symptom Manage	40	224-34	2010
Akechi T, Ishiguro C, Okuyama T, Endo C, Sagawa R, Uchida M, Furukawa TA	Delirium training program for nurses.	Psychosomatics	51	106-11	2010
Akechi T, Okamura H, Nakano T, Akizuki N, Okamura M, Shimizu K, Okuyama T, Furukawa TA, Uchitomi Y	Gender differences in factors associated with suicidal ideation in major depression among cancer patients.	Psychooncology	19	384-9	2010
Azuma H, Ichikawa U, Katsumata R, Akechi T, Furukawa TA	Paroxysmal nonkinesigenic dyskinesia with depression treated by bilateral electroconvulsive therapy.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	22	352d e6-352 e6	2010

Chen J, Furukawa TA, Nakano Y, Ietsugu T, Ogawa S, Funayama T, Watanabe N, Noda Y, Rapee RM	Video feedback with peer ratings in naturalistic anxiety-provoking situations for social anxiety disorder: Preliminary report	J Behav Ther Exp Psychiatry	41	6-10	2010
Katsumata R, Sagawa R, Akechi T, Shinagawa Y, Nakaaki S, Inagaki A, Okuyama T, Akazawa T, Furukawa TA	A case with Hodgkin lymphoma and fronto-temporal lobular degeneration (FTLD)-like dementia facilitated by chemotherapy.	Jpn J Clin Oncol	40	365-8	2010
Kessler RC, Green JG, Gruber MJ, Sampson NA, Bromet E, Cuitan M, Furukawa TA, Gureje O, Hinkov H, Hu CY, Lara C, Lee S, Mneimneh Z, Myer L, Oakley-Browne M, Posada-Villa J, Sagar R, Viana MC & Zaslavsky AM	Screening for serious mental illness in the general populationj with the K6 screening scale: results from the WHO World Mental Health (WMH) survey initiative.	Int J Methods Psychiatr Res	19	4-22	2010
Kojima M, Hayano J, Suzuki S, Seno H, Kasuga H, Takahashi H, Toriyama T, Kawahara H & Furukawa TA	Depression, Alexithymia and Long-Term Mortality in Chronic Hemodialysis Patients.	Psychother Psychosom	79	303-311	2010
Ogawa S, Furukawa TA, Nakano Y, Funayama T,	Interoceptive hypersensitivity as prognostic factor among patients with panic disorder	J Behav Ther Exp Psychiatry	41	325-9	2010

Watanabe N, Noguchi Y, Sasaki M	who have received cognitive behavioral therapy				
Omori IM, Watanabe N, Nakagawa A, Cipriani A, Barbui C, McGuire H, Churchill R, Furukawa TA	Fluvoxamine versus other anti-depressive agents for depression	Cochrane Database Syst Rev	3	CD006114	2010
Watanabe N, Furukawa TA, Chen J, Kinoshita Y, Nakano Y, Ogawa S, Funayama T, Ietsugu T, Noda Y	Change in quality of life and their predictors in the long-term follow-up after group cognitive behavioral therapy for social anxiety disorder: a prospective cohort study	BMC Psychiatry	10	81	2010
Watanabe N, Omori IM, Nakagawa A, Cipriani A, Barbui C, McGuire H, Churchill R, Furukawa TA	Safety reporting and adverse-event profile of mirtazapine described in randomized controlled trials in comparison with other classes of antidepressants in the acute-phase treatment of adults with depression: systematic review and meta-analysis	CNS Drugs.	24	35-53	2010
Yamamoto N, Inada T, Shimodera S, Morokuma I, Furukawa TA.	Brief PANSS to assess and monitor the overall severity of schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci	64(3)	262-7	2010
Akechi T, Okuyama T, Endo C, Sagawa R, Uchida M, Nakaguchi T, Akazawa T, Yamashita H, Toyama T,	Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan.	Psychooncology	20	497-505	2011

Furukawa TA					
Akechi T, Okuyama T, Sagawa R, Uchida M, Nakaguchi T, Ito Y, Furukawa TA	Social anxiety disorder as a hidden psychiatric comorbidity among cancer patients.	Palliat Support Care	9	103-5	2011
Azuma, H., Yamada, A., Shinagawa, Y., Nakano, Y., Watanabe, N., Akechi, T., Furukawa, T. A.	Ictal physiological characteristics of remitters during bilateral electroconvulsive therapy.	Psychiatry Res	185(3)	462-464	2011
Cipriani A, Furukawa TA, Barbui C.	What is a Cochrane review?	Epidemiology and Psychiatric Sciences	20	231-3,	2011
Furukawa TA, Akechi T, Shimodera S, Yamada M, Miki K, Watanabe N, Inagaki M, Yonemoto N.	Strategic use of new generation antidepressants for depression: SUN(^_^)D study protocol.	Trials	12	116,	2011
Furukawa TA, Akechi T, Wagenpfeil S, Leucht S	Relative indices of treatment effect may be constant across different definitions of response in schizophrenia trials.	Schizophr Res	126	212-9	2011
Furukawa TA, Azuma H, Takeuchi H, Kitamura T, Takahashi K.	10-year course of social adjustment in major depression.	International Journal of Social Psychiatry	57	501-8	2011
Furukawa TA, Leucht S.	How to obtain NNT from Cohen's d: comparison of two methods.	PLoS ONE	6	e19070	2011
Furukawa TA.	Drug treatment for generalised anxiety disorder.	BMJ (Clinical Research Ed)	342	d1216	2011



Furukawa TA.	Rapid discontinuation of antidepressants reduces time to recurrence of depression and panic.	Evidence-Based Mental Health	14	13	2011
Hashimoto N, Nakaaki S, Omori IM, Fujioi J, Noguchi Y, Murata Y, Sato J, Tatsumi H, Torii K, Mimura M, Furukawa TA.	Distinct neuropsychological profiles of three major symptom dimensions in obsessive-compulsive disorder.	Psychiatry Research	187	166-73	2011
Katsuki F, Takeuchi H, Konishi M, Sasaki M, Murase Y, Naito A, Toyoda H, Suzuki M, Shiraishi N, Kubota Y, Yoshimatsu Y, Furukawa TA.	Pre-post changes in psychosocial functioning among relatives of patients with depressive disorders after Brief Multifamily Psychoeducation: A pilot study.	BMC Psychiatry	11	56	2011
Kinoshita Y, Shimodera S, Nishida A, Kinoshita K, Watanabe N, Oshima N, Akechi T, Sasaki T, Inoue S, Furukawa TA, Okazaki Y	Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents.	Schizophr Res	126	245-51	2011
Okuyama T, Akechi T, Yamashita H, Toyama T, Nakaguchi T, Uchida M, Furukawa TA.	Oncologists' recognition of supportive care needs and symptoms of their patients in a breast cancer outpatient consultation.	Japanese Journal of Clinical Oncology	41	1251-8	2011
Ono Y, Furukawa TA, Shimizu E,	Current status of research on cognitive therapy/cognitive	Psychiatry and Clinical	65	121-9	2011

Okamoto Y, Nakagawa A, Fujisawa D, Ishii T, Nakajima S.	behavior therapy in Japan.	Neurosciences			
Sado M, Yamauchi K, Kawakami N, Ono Y, Furukawa TA, Tsuchiya M, Tajima M, Kashima H.	Cost of depression among adults in Japan in 2005.	Psychiatry and Clinical Neurosciences	65	442-50	2011
Sagawa R, Yoshida A, Funayama T, Okuyama T, Akechi T, Furukawa TA	Case of intrathecal baclofen-induced psychotic symptoms.	Psychiatry Clin Neurosci	65	300-1	2011
Shimazu K, Shimodera S, Mino Y, Nishida A, Kamimura N, Sawada K, Fujita H, Furukawa TA, Inoue S	Family psychoeducation for major depression	Br J Psychiatry	198	385-39 0	2011
Torii K, Nakaaki S, Banno K, Murata Y, Sato J, Tatsumi H, Yamanaka K, Narumoto J, Mimura M, Akechi T, Furukawa TA	Reliability and validity of the Japanese version of the Agitated Behaviour in Dementia Scale in Alzheimer's disease: three dimensions of agitated behaviour in dementia.	Psychogeriatrics	11	212-22 0	2011
Uchida M, Akechi T, Okuyama T, Sagawa R, Nakaguchi T, Endo C, Yamashita H, Toyama T, Furukawa TA	Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan.	Jpn J Clin Oncol	41(4)	530-6	2011
<u>Watanabe N,</u> <u>Furukawa TA,</u>	Brief behavioral therapy for refractory insomnia in residual	J Clin Psychiatry	72(12 )	1651-1 658	2011

<u>Shimodera S</u> , Morokuma I, Katsuki F, Fujita H, Sasaki M, Kawamura C, Perlis ML	depression; an assessor-blind, randomized controlled trial				
Watanabe N, Omori IM, Nakagawa A, Cipriani A, Barbui C, Churchill R, Furukawa TA.	Mirtazapine versus other antidepressive agents for depression.	Cochrane Database of Systematic Reviews	12	CD006 528	2011
<u>Yonemoto N</u> , <u>Akechi T</u> , <u>Shimodera S</u> , <u>Yamada M</u> , Miki K, <u>Watanabe N</u> , <u>Inagaki M</u> , <u>Furukawa TA</u>	Strategic use of new generation antidepressants for depression; SUN-D study design and rationale	Trials	12(1). A106	1-2	2011
Cipriani A, Koesters M, <u>Furukawa TA</u> , Nose M, Purgato M, Omori IM, Trespidi C & Barbui C	Duloxetine versus other anti-depressive agents for depression	Cochrane Database of Systematic Reviews	10	CD006 533	2012
Cipriani A, Purgato M, <u>Furukawa TA</u> , Trespidi C, Imperadore G, Signoretti A, Churchill R, <u>Watanabe N</u> , Barbui C.	Citalopram versus other anti-depressive agents for depression.	Cochrane Database Syst Rev.	7	CD006 534	2012
<u>Furukawa TA</u> , <u>Horikoshi M</u> , Kawakami N, Kadota M, Sasaki M, Sekiya Y, Hosogoshi H,	Telephone cognitive-behavioral therapy for subthreshold depression and presenteeism in workplace: a randomized controlled trial	PLoS ONE	7	e35330	2012

Kashimura M, Asano K, Terashima H, Iwasa K, Nagasaki M & Grothaus LC					
Johnston BC, Thorlund K, da Costa BR, <u>Furukawa TA</u> & Guyatt GH	New methods can extend the use of minimal important difference units in meta-analyses of continuous outcome measures	Journal of Clinical Epidemiology	65	817-82 6	2012
Kinoshita K, Kinoshita Y, <u>Shimodera S</u> , Nishida A, Inoue K, <u>Watanabe N</u> , Oshima N, <u>Akechi T</u> , Sasaki T, Inoue S, <u>Furukawa TA</u> , Okazaki Y	Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese adolescents	J Nerv Ment Dis	200(4 )	305-30 9	2012
Lihong Q, <u>Shimodera S</u> , Fujita H, Morokuma I, Nishida A, Kamimura N, Mizuno M, <u>Furukawa TA</u> , Inoue S	Duration of untreated psychosis in a rural/suburban region of Japan	Early Interv Psychiatry	6	239-24 6	2012
<u>Shimodera S</u> , <u>Furukawa TA</u> , Mino Y, Shimazu K, Nishida A, Inoue S	Cost-effectiveness of family psychoeducation to prevent relapse in major depression; results from a randomized controlled trial	BMC Psychiatry	12(40 )	1-6	2012
<u>Shimodera S</u> , Imai Y, Kamimura N, Morokuma I, Fujita H, Inoue S,	Mapping hypofrontality during letter fluency task in schizophrenia; a multi-channel near-infrared spectroscopy	Schizophr Res	136	63-69	2012